

八高新時代の幕が上がる!!

兵庫県立八鹿高等学校 WEB ページをご覧いただき、誠にありがとうございます。

本校は 1897 (明治 30) 年、兵庫県簡易蚕業学校として開校して以来、連綿 127 年の長い歴史を刻んでまいりました。富田碎花作詞の校歌に「みなかみ遠き谷々の 水を集めて合ふところ むすぶにまかす知の泉 けふぞ挙る」とある通り、清らかな水がふるさと但馬の山々から湧き出でてここ八鹿の地に集まり、誇らしき「知の泉」となって世界へ流れ出すがごとく、但馬における後期中等教育の中心的存在として発展を遂げ、今日を迎えています。ひとえに地域の皆様、卒業生の皆様をはじめとする関係各位の力強いご支援の賜物であり、保護者、学校関係者のご理解ご協力あってのことと心よりお礼申し上げます。

さて、予測困難な時代にあって、学校で学ぶ意義とは何なのでしょう。それは、「人にとって質的な豊かさとは何なのか」という問いに対する答えを求め続けることであると言えます。学びの到達点は、人の幸福、個人や社会にとって質的に豊かな生き方・在り方を実現することにあるのです。

それでは、人にとって「質的な豊かさ」とはいったい何なのでしょう。人はどこに幸福を見いだすのでしょうか。私は、人の幸福は、家族や仲間、そして多様な人々との間に結ぶ絆や信頼関係の中にこそある、と考えます。だからこそ、人間本来の「心」で未来を切り拓く、そのような人材を育成したいと強く願います。

「文理探究科」が始動する令和 6 年 4 月を、八鹿高校新時代の幕開けと位置づけ、全校体制で「多様な他者と協働し、新しい時代を自ら創造しようとする資質能力と態度」を備えた若者の育成に全力を注いでまいります。引き続きご支援賜りますよう、なにとぞよろしく願い申し上げます。

令和 6 年 4 月 1 日

校長 山本 宏治